



未来をデザイン
Landscape design make the future



創立50周年のご挨拶

代表取締役社長 宮入賢一郎

令和3年7月5日、弊社は創立50周年を迎えました。これもひとえに、関係各位、地域の皆様のご支援とご愛顧の賜物と、心より感謝申し上げます。

50年前、弊社は造園設計を専門とする会社として誕生し、以来、連綿と人財をつなぎ、この半世紀の歴史を歩むことができました。社会経済情勢が目まぐるしく変化するなかで、求められる社会のニーズにシなやかに対応しながら、長野県では唯一、全国的にも数少ない地方のランドスケープコンサルタントとして社会資本整備の一翼に寄与することができましたのも、皆様の支えとランドスケープという柔軟性のある仕事のありがたさがあったからに他なりません。

ランドスケープは、都市のインフラ整備にとどまらず、農山村の景観や自然環境の保全など、幅広い分野・領域のテーマと向き合い、人々の理想のかたちを描き、社会の課題解決を図る仕事です。ゆえに、私たちは複眼的に生活者の視点を持ち、快適性や楽しさ、喜び、幸せを実感できる空間を創造する感性と技術力をもち合わせなければなりません。近年は、ゼロカーボンやSDGsなど世界共通の目標実現や、グリーンインフラやAIなど新たな概念・技術の導入も念頭に、少子高齢化や自然災害、公衆衛生危機への対応など社会が直面する大きな課題に対し、常に俯瞰的かつ大局的な思考をもって、最適解を追求する姿勢が求められています。プランやデザインは具現化され、私たちの手を離れたときが、新しいランドスケープの出発点であり、それが

人々や自然の営みにより、長い年月をかけて風景、風土へと醸成されていきます。

この節目に、今一度このことを胸に刻み、旺盛な好奇心と強い使命感をもって、地域・社会に貢献できる企業を目指し、日々精進し続ける所存でございますので、変わらぬご愛顧・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和3年7月



HISTORY — 50年のあゆみ —



設立時のコーポレートロゴ

人と人が集い、あいさつを交わし、楽しんでいる風景を「コウエン」としたデザイン。
ご挨拶の際に話題のひとつになるよう、「図」と「地」の錯視を応用したデザインです。

KRC 社名変更時のコーポレートロゴ

人と人が共に支え合い、楽しそうにダンスしている、人との繋がりを表現しています。地域の人々と共に手を取り、まちづくり、地域づくり、環境づくりのお手伝いをしていきたいという気持ちを込めたロゴデザイン。

KRC10周年コーポレートロゴ

KRCのKをイメージするパズルのピースをモチーフに、人と人、人と社会を繋ぎ、みんなの夢を具現化していくコンサルタントとして、パズルのピースのように欠けてはならない存在になっていきたいという想いを込めたデザインです。また、ランドスケープの感性や技術で未来をデザインし、ピース⇒Peace⇒平和という願いも込められています。



AKIRA KAMEYAMA

亀山章様



織田信長は50歳を前にして世を去った。時の流れの速さが比べようもない現代において、50年もの歳月をたどることができる会社は並大抵のものではない。しかも、元氣よく生き続けてきたのであり、郷土長野県に大きな功績を残しながら働き続けてきたのである。KRCの前身の公園緑地設計事務所は1971年に創立され、小山明前社長は1972年に入社している。その年は私が信州大学農学部助手に採用された年であり、田中角栄内閣が誕生して「日本列島改造論」による開発が謳歌された時代のはじまりであった。この年、小山さんが研究室に来られたときのことは鮮明に覚えている。名刺のことである。名刺は年月日を記入できるようにされており、受け取った者はお目にかかった日が記録される目ざましい発想である。名刺整理の基本ともいえる実践である。都市公園や環境分野のコンサルタントの仕事ははじまるのは1970年代からであり、会社は時代の先端に立っていた。コンサルタントは専門の知識と技術を用いて社会のさまざまな開発や環境保全の仕事の指導と助言をする先導者としての役割が大きく期待されていた。その後、小山さんの発案で官・民・学の専門家の集まりである長野県造園修景協会が設立され、事務局を引き受けていただいた。1980年代になると県内の公園整備もすすんできたので、協会の仲間で信濃毎日新聞社から「長野県の都市公園」を世に出した。さらに仲間で手分けして県下の全市町村の街路樹を

Profile

造園家
公益財団法人日本自然保護協会理事

信州大学農学部教授を経て東京農工大学農学部教授、
東京農工大学名誉教授

全数調査して「長野県街路樹白書」を刊行し、これをもとにして信濃毎日新聞社から「長野県の街路樹と並木」を出版した。公園緑地設計事務所の大きな支援によってできたものである。1984年に長野県環境影響評価指導要綱が告示され、環境アセスメントの時代がはじまる。その第1号が清野辺の里のゴルフ場の開発であり、公園緑地設計事務所がアセス書をつくり、私は県の技術委員会の委員として向かい合うことになった。1980年代の後半から長野県に国営公園の構想が持ち上がり、候補地選定を経たのちの1990年代から国営アルプスあづみの公園の調査と計画・設計が着手された。この仕事は公園緑地設計事務所の技術に依るところが大きかったが、構想段階からかかわっていた私も今日までの長い間、ともに仕事ができただけで大きな喜びである。社名をKRCに変えて宮入賢一郎社長になってから、活動の幅はさらに広がり、さまざまな社会貢献にも力を入れ、本業のほうでは私のかかわる土地利用計画や文化財保護の分野にも幅広く挑んでいる。KRCは創業以来50年の間、地域に根付いたコンサルタントであることが何よりも高く評価される。それは地域に関する情報と、人と人のつながりを宝とする地産地消とも言える土着のコンサルタントだからである。KRCが県下の隅々にまでコンサルタントの役割を浸透させた功績は極めて大きく、これからのさらなる発展が期待される。

YOSHITERU NISHIKAWA

西川嘉輝様



Profile

公益社団法人 日本家庭園芸普及協会 専務理事

国土交通省 都市・地域整備局 公園緑地課 緑地環境推進室長、一般財団法人公園財団 常務理事などを歴任

創立50周年おめでとうございます。造園コンサルタントとしての高い技術力・情報力を基盤に、全国的な視野をもちつつ、長きに渡り、地域に根ざした事業展開をされていることに心より敬意を表します。当財団では、長年、国営アルプスあづみの公園の運営管理に携わっておりますが、御社からは、地域のネットワークや豊富な地域情報に基づく貴重な助言や業務協力をいただく機会が多く、大変心強いパートナーとして良好な関係を築かせていただいております。御社の業務実績を拝見すれば、国営アルプスあづみの公園のほかにも松本平広域公園をはじめ県内の様々な公園づくりや地域づくりなどで数々の成果をあげております。更に2019年に開催した全国都市緑化信州フェアでは、誘致段階から、計画、会場づくり、運営等全てにかかわり、フェア成功に大きく貢献されるなど長野の公園緑地・緑化政策にはなくてはならない存在となっております。一方、新型コロナウイルス感染症の拡大で、公園緑地の必要性が再認識されており、地域活性化のためには、新しい生活様式の中で、地元へ愛されて利用されつつ、広域交流拠点となる公園緑地の存在が必要不可欠となっております。まさに、高い専門性と幅広い知見を有し、地域を熟知した御社の活躍の場は広がっています。コロナ危機を新たな地域づくり・緑づくりの機会ととらえ、率先して挑戦することを期待するとともに御社の発展を心より祈念いたします。

NORIHIRO KANEKIYO

金清典広様



Profile

一般社団法人ランドスケープコンサルタンツ協会会長

高野ランドスケーププランニング株式会社代表取締役

創立50周年を迎えられ、誠にありがとうございます。昭和51年2月にCLAの前身である日本造園設計事務所連合にご入会いただき、以来今日まで、(社)ランドスケープコンサルタンツ協会の会員として、会の活動を支え続けていただいたこと、改めて感謝申し上げます。御社は、地方における草分け的なランドスケープコンサルタントとして活躍してこられ、豊かな地域社会の実現に寄与されてこられました。御社が手掛けられた第36回全国都市緑化信州フェア信州花フェスタ2019は、今年のCLA賞優秀賞に表彰させていただきました。信州らしいランドスケープへの気付きと新たな価値創造を表現され、さらに多様な主体の参加区によるフェアの実践、県民共同による展示、これからの協働に向けた提案などの内容が高く評価されたものです。論語では、人生の歩みの中、五十は、「天命を知る」年代に達したことになります。天命を知った御社は、今後、ますますその天命を果たしていかれることと思います。社員の皆様の持っている個性を活かされ、社内一丸となって、「Landscape Design make the future. 未来をデザイン」を実践され、より魅力的で幸せな地域社会づくりに今後ますます邁進されますことを期待しております。

MAYUMI TAKAHASHI

高橋まゆみ様



新幹線飯山駅開通を見据え、2010年、地元の人形館が作られることになった。誰一人として、専門知識のある人がいない中で、準備が始まった。

当時勤めていた市の職員と、菜の花公園、城山遺跡、飯山市運動公園等、夢を巡らせながら周った頃が、今では懐かしい。

そんな中、最終的に決定したのが、愛宕町にある公園の一角であった。

古い土蔵がぼつりと、役目もなくたたずんでいた。

場所が決まれば、今度は建物という事で、何社かの設計がコンペで競われた。

正直、一作家の私が、こういう場所に参加できること自体、ありがたかった。

じ～さん、ば～さんの人形という事で、古民家風の物もあれば、近未来的なものもあった。そんな中で、決まったのが、KRCさんの設計であった。

正直、こんなに沢山の緑地設計をしている会社である事も、建築設計をされることも知らない自分であったが、全国を巡って、旅をしてきた人形達の居場所が出来た思いで安堵した。

出来上がった人形館は、設計士こだわりの気泡の入ったアンティーク調窓ガラスや、役目を果たしていなかった蔵の柱等も所どころに再生され、落ち着いた展示室も、周りの季節を感じる木々も、私の中では今も尚、大満足である。

今回、この記事を書かせていただくにあたって、送っ

Profile

人形作家

1998年ユザワヤ創作大賞 部門大賞受賞をはじめ、新世紀人形展、日本手工芸美術展等で各賞受賞。全国で作品展を開催、執筆活動、作品の人形達もCM等で活躍中。

て頂いたKRC顧問の小山明さんの文中に「その場で学びながら業務を行うと言うスタイルの職場であり、様々な要求に適應できるような人材育成が出来れば・・・そして今に至り優秀な人材が育っていると自負している」と書かれている。

KRCさんも、手探りの中から、50年という月日の中で知恵や汗を流しながら、人材育成をし、今に至っているのだと思う。

人形館も今年12月日に入った。

後を追うように人々に愛され、ずっと親しまれる館になれるよう、皆で頑張っていきたいと思う。

事業は人だと、私は思う。

KRCさんの益々の発展を楽しみに、50周年という大きな節目にお祝い申し上げます。



高橋まゆみ人形館

<https://www.ningyoukan.net>

KOICHI HASEBE

長谷部好一様



Profile

造園家・郷土史研究者

一般社団法人長野県造園建設業協会会長、株式会社園建社長などを歴任

株式会社KRCが創立50周年を迎えたことに心からお喜び申し上げます。創立した私にとってこんな嬉しいことはありません。米寿も過ぎて世捨て人にならないよう生きている私にとって、後継ぎして下さった皆様の頑張りとお社の充実・発展に心から敬意を表するとともに、多大なる感謝を申し上げます。

株式会社KRCの歴史をたどるとき、どうしても私の経歴に触れなければなりません。昭和38年春、家業の果樹園経営からの転職を迫られる中、桜井慶三郎さんを中心とした県内初の園芸・緑化・造園の文化組織である長野県造園協会の立ち上げに携わらせていただいたのが私にとって造園との関わりの始まりでした。

その後、戦後の復興、所得倍増計画、東京オリンピックの開催など、活気あふれる時代のなか、昭和41年に協会から離れ造園建設会社である株式会社長野造園建設（後の株式会社園建）を立ち上げました。当時は、長野県内も住宅団地造成が盛んになり、児童公園、近隣公園開設が始まり、それに伴い緑の植栽や庭づくりの機運が高まりつつありました。そうした時代背景を契機とし、昭和46年7月には会社から設計部門を独立させ、県内初の造園設計会社となる株式会社公園緑地設計事務所（現株式会社KRC）がスタートしたのです。

以来、昭和・平成から令和へと時代が流れ、厳しい時期もありましたが、社会の要請に的確に対応しながら株式会社KRCは確かな成長を遂げてこられたこと

については、これまでの長い道のりに思いを致しつつ、感激とともに大きな期待を感じてやみません。

私は平成8年に一線を退き、いまは趣味で始めた郷土の歴史研究に老いの情熱をたぎらせる毎日ですが、造園の世界に永く関わってきたひとりとして、造園や公園など街づくりに関連することにも関心を持ち続けております。

変動の平成期から、さらに多様化するであろう令和の時代を迎え、株式会社KRCも時代に対応したランドスケープデザインのコンサルタントとして、社会に大きな貢献をしながらさらに発展されることを心よりお祈りし、創立50周年の記念に寄せる言葉とさせていただきます。

AKIRA KOYAMA

小山明様 故人



この度、株式会社KRCが創立50周年を迎えられたことに対して、心からお喜び申し上げます。ここに至るまでの経緯については今更私が申し上げるまでもないところですが、その歴史の一端を担ったものとして、若干記させていただきたいと思っております。

私は昭和47年に発足間もない株式会社公園緑地設計事務所（現在のKRC）に入社しました。先に在籍した大学同期の友人の誘いでありましたが、青年海外協力隊モロッコ王国水森林局で2年間の植林業務を終え帰国したばかりで社会経験が少ない私には、未開拓であった造園設計という仕事に連日強烈なカルチャーショックを受けていました。

当時の業務は測量会社の手伝いや人材派遣のような仕事の合間に造園設計の仕事が入るといった具合で、資金繰りは苦しかったです。しだいに公共業務が増加し、私も難関であった技術士の資格を取得しましたが、その頃から資金繰りが好転し始めました。その後、公園設計以外にも環境アセスメントなどを始めた多様な業務に取り組むなど、順調に業務量も増加する中、後の自社ビル建設につながりましたが、この間の社員の苦勞は相当なものだったと今更ながら感謝の気持ちでいっぱいです。

当初は私を含め専門性が乏しく、その場その場で学びながら業務を行うというスタイルの職場でした。その中で様々な要求に適應できるような技術者の育成ができれば良しとする姿勢で人材育成を図ってきたことが、今に至り優秀な人材が育っていると自負してい

Profile

造園コンサルタント・樹木医

元 株式会社KRC会長、
株式会社公園緑地設計事務所代表取締役などを歴任
令和3年2月9日逝去（生前の寄稿文・絶筆）

ます。
また、人材育成と共に当時他の会社に先駆けてパソコン、CAD等のIT導入を図るなど設備投資も積極的に進めたことで、大型業務にも迅速かつ確に対応することが可能となり、大きな飛躍につながったと思っております。中でも、信州博覧会会場設計監理業務は、高い評価を得ることができましたが、それはそれまで積み上げてきた会社実績の集大成であり、社員一人一人の積み重ねがあってこそのことと思っております。

これまでの歩みの中で、公共事業の見直しなどにより、社員数を約7割にせざるを得ない厳しい事態に追い込まれた時期もありましたが、私が一線を退いた後、宮入新社長のもと、各々のすぐれた能力と組織力により、見事に切り抜け今日の成長に繋げてこられた姿を見させていただき、感謝の気持ちとともに頼もしさを感じております。

この度、創立50周年を迎えられたことに深甚なる敬意を表すとともに、次の50年、そして100年先も地域をリードするランドスケープコンサルタントとして、超高齢化社会の進展に伴う多様な地域ニーズに機敏かつ柔軟に適應できるよう、さらに研鑽を積まれ、発展されることを心から祈念しております。

YOSHIO TAKANO

高野善生様



Profile

朝日税理士法人代表社員・税理士
長野商工会議所常議員

税理士会長野支部長、関東信越税理士会常務理事、
関東信越税理士政治連盟副会長などを歴任

株式会社KRCの設立50周年を記念して、一言ご挨拶を申し上げます。私の父の代から税理士事務所としてお付き合いをさせていただき心より御礼申し上げますと共に、改めて設立50周年を迎えられましたことをお祝い申し上げます。

御社の設立と父・高野祥二税理士事務所の設立がほぼ同時期であったため、子供のころから旧公園緑地設計事務所の名前は私の記憶に刷り込まれておりました。そして今日代を繋ぎ、御社とともに50年の長きにわたり経営を続けてこられたことを感慨深く思います。父はいつも旧公園緑地設計事務所の話になると、『優秀な人材を集めている』ことに感心しておりました。「人は石垣、人は城」との名言通り、御社の今日の繁栄は人材の育成に熱心だったことに他ならないと思っております。

旧公園緑地設計事務所は今日株式会社KRCと名称変更され、従業員総数は20名を超える規模となり、長野県だけではなく東京都にも支店を設けるほどになりました。年間事業収入も3億円前後となっており、事実上無借金経営を続けております。このような華やかな時代を迎える前には苦しかった時代もあり、一時はどうなることかと心配した時もありました。しかしそんな苦しい時代でさえもなんとかして会社を残そうという従業員の皆さんの献身的な努力により、会社は蘇り、再び前進を続けています。

私は仕事柄多くの会社を見てきましたが、隆盛が続ける会社と衰退して消滅する会社との違いを考えてきま

した。人間は年齢とともに次第に活動力は弱まりますが、会社も人間に合わせて衰退がはじまります。人材を育て、家業から脱皮し、次世代を担う人たちにバトンを渡すことこそが長寿企業の秘訣ではないかと思っています。

おそらく株式会社KRCは長野県を代表する造園景観・都市計画(最近はランドスケープと言うらしい)専門会社として100年企業に成長することと思います。日本から海外へ進出するかもしれません。未知の世界、わくわくする世界が待ち受けています。

多くの皆様に支えられて次の50年を進んでいくことと思います。期待を込めてお祝いの言葉とさせていただきます。

ACHIEVEMENT

これまでにてがけた主な実績

1971



2021



LANDSCAPE

ランドスケープ

造園設計の専門会社として誕生して50年。多くの公園の調査、構想、計画、設計、監理に携わってきました。近年では、アセットマネジメント、長寿命化、再整備、Park-PFI、パークマネジメント、防災、健康、グリーンインフラなどの視点から、公園のにぎわい、魅力、活用、機能を最大限に引き出すことを念頭にみんなに愛され、求められる「空間」を創出していきます。



長野県松本平広域公園



諏訪中央公園



横内中央公園（茅野市）



若穂中央公園（長野市）



長野県鳥川渓谷緑地



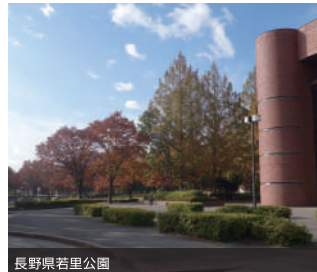
やしろ公園（大町市）



立石公園（諏訪市）



松川中央公園



長野県若里公園



千歳町ポケットパーク（長野市）



南千歳公園（長野市）



やまびこ広場親水エリア（山ノ内町）



川中島古戦場史跡公園（長野市）



七瀬西公園（長野市土地区画整理事業地内）



北中南公園（長野市土地区画整理事業地内）



長野市権堂B1市民交流広場



鳥居平やまびこ公園（岡谷市）



なるう原公園（山形村）



東御中央公園くじら噴水



新光電気工業株式会社 栗田総合センター



国営アルプスあづみの公園 大町・松川地区 アルプス大草原



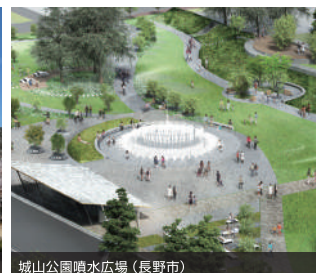
国営アルプスあづみの公園 大町・松川地区 溪流レクリエーションゾーン



国営アルプスあづみの公園 大町・松川地区 マウンテンバイクパーク



城山公園野球場跡地（長野市）



城山公園噴水広場（長野市）



芳川公園（松本市）



平瀬緑地（松本市）



中野市防災広場



防災メモリアル地附山公園 (長野市)



ふるさと公園あおき (青木村)



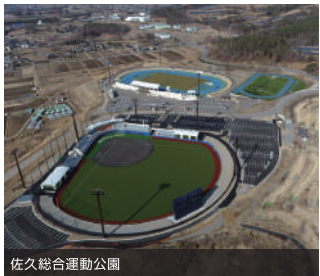
松本市アルプス公園 子供冒険広場



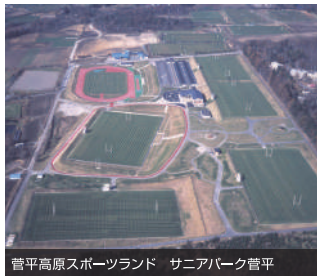
宮遺跡公園 (長野市中条)



中ノ原縄文公園 (茅野市)



佐久総合運動公園



菅平高原スポーツランド サニアパーク菅平



多目的サッカー場 (中野市)



飯山城址公園



高梨館跡公園 (中野市)



山寺常山邸 (長野市松代)



軽井沢風越公園人工芝グラウンド



大田原マレットパーク (千曲市)



北公園テニスコート (中野市)



御代田町龍神の杜公園 高齢者健康増進施設



上山田城山史跡公園「荒砥城跡」



木曾の大橋 (塩尻市奈良井宿)



天白芝生グラウンド (高森町)



丸子天下山マレットゴルフ場



長野市東部浄化センター



湯の丸高原登山道



黒斑山登山道



笠取峰松並木公園



大出公園 (白馬村)



夜間瀬川中央河川公園 (中野市)



生坂村スポーツパーク



戸隠キャンプ場



堀金村オートキャンプ場



上高地園地遊歩道

ARCHITECTURE

建築

公園の管理施設、休養施設、便益施設、運動施設、教養施設を中心に建築に携わってきました。近年では、文化施設、教育施設、集会施設、公益施設、商業施設など建築分野の幅を広げています。ランドスケープコンサルタントとして、ひと・文化・環境との調和を大切にプロジェクトを進めています。



サンマリーンながの・リサイクルプラザ (長野市)



いづなマルシェむーちゃん



茶臼山動物園レッサパンダの森 (長野市)



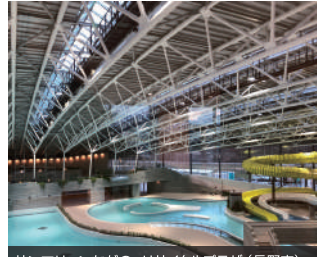
茶臼山動物園オランウータンの森 (長野市)



高橋まゆみ人形館 (飯山市)



五島慶太未来創造館 (青木村)



サンマリーンながの・リサイクルプラザ (長野市)



道の駅女神の里たてしな
公衆トイレ・情報発信施設



奈川楽農倶楽部クラインガルデン



茅野市自動車学校宿泊施設



国営アルプスあづみの公園
OM地区インフォメーション棟



谷川岳インフォメーションセンター



千曲坂城消防本部戸倉上山田消防署



豊科高校大体育館



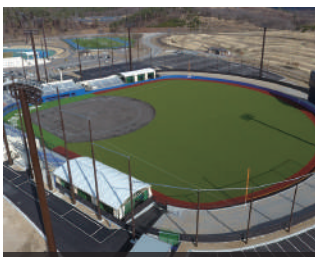
長野市立下氷鉦小学校北校舎



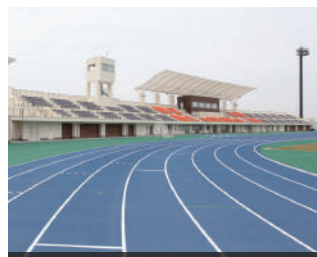
長野東高校耐震



平尾山公園昆虫体験学習館 (佐久市)



佐久総合運動公園野球場



佐久総合運動公園陸上競技場



青垣公園市民プール (長野市)



飯山警察署野沢温泉村警察官駐在所



県営住宅高瀬団地5号棟



かやぶきの館能舞台 (辰野町)



上山田知識寺仁王門



御代田駅前広場公衆トイレ



長野駅東口公園防災備蓄倉庫



東御市海野マレットゴルフ場管理棟



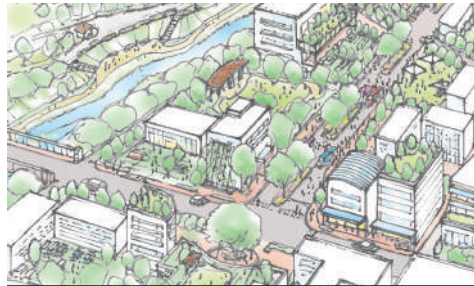
信州環境住宅「たまりの家」

URBAN&RURAL PLANNING

まちづくり

ランドスケープの視点は、市町村の総合計画や国土利用計画、都市計画など総合的なまちづくりのビジョンや戦略を描く計画の策定、さらには土地利用などの制度構築にも活かされています。

まちの魅力や持続可能性を高めるために、地域の特性を読み解きながら、みどりや景観、歴史・文化、公共施設など多彩な切り口からデザインします。さらに、まちの基盤となる環境や資源、施設の保全・整備、維持管理・活用のあるり方を行政や住民の皆さんとともに考え、各種計画・制度等への反映を図ってまちづくりや地域再生の実践の取り組みにつなげる支援をしています。



みどり・景観

- ・信州まちなかグリーンインフラ推進計画
- ・長野県広域緑地計画
- ・長野県農村景観育成方針
- ・長野県新グリーンプラン
- ・緑の基本計画（長野市、佐久市、上田市、中野市、諏訪市、松川村）
- ・景観計画等（安曇野市、飯綱町、青木村）
- ・屋外広告物条例（長野市、安曇野市）
- ・新エネルギービジョン（飯綱町）



歴史・文化

- ・立科町笠取峠のまつ木保存管理計画策定
- ・長和町中山道長久保宿和田宿保存整備管理計画策定
- ・須坂市米子瀑布群保存活用計画策定
- ・長野県名勝候補地等調査
- ・中山道鳥居峠整備計画
- ・安中市中山道碓氷峠越整備基本計画
- ・佐久市龍岡城跡整備基本計画



協働・住民参加

- ・信州緑花ネットワーク活動支援
- ・長野駅普光寺口利活用ネットワーク活動支援
- ・NPO法人C.O.2バンク推進機構活動支援
- ・NPO法人安曇野ふるさとづくり応援団活動支援
- ・大田市観光協会活動支援
- ・株式会社ハッポ高原ロッジ活動支援



施設マネジメント

- ・公共施設等総合管理計画（筑北村、青木村）
- ・公共施設個別計画長寿命化計画（安曇野市、青木村）
- ・国営アルプスあづみの公園管理運営計画
- ・国営アルプスあづみの公園アセットマネジメント計画
- ・烏川溪谷緑地管理運営計画
- ・飯綱町多世代交流施設管理運営計画
- ・松本平広域公園アルウィン維持管理運営計画
- ・有明荘改修等基本構想策定
- ・安曇野市宿泊施設更新修繕計画
- ・茅野市公園プロジェクト調査研究
- ・都市公園施設等長寿命化計画（長野県、長野市、松本市、諏訪市、佐久市、上田市、小布施町、高森町、御代田町）
- ・国立公園自然公園等施設長寿命化計画



行政計画・マスタープラン

- ・総合計画（飯綱町、青木村）
- ・国土利用計画（安曇野市、池田町、松川村、飯綱町）
- ・人口ビジョン及び総合戦略（池田町、飯綱町、筑北村）
- ・土地利用計画（安曇野市）
- ・土地利用調整基本計画（松川村、池田町、波田町）
- ・長野県都市計画ビジョン
- ・都市計画マスタープラン（池田町、安曇野市）
- ・立地適正化計画（安曇野市）
- ・スポーツ施設整備計画（安曇野市）
- ・道路整備、公共交通計画（安曇野市、青木村）



地域再生・まちおこし

- ・飯綱町生涯活躍のまちづくり全町展開支援
- ・松代町文化財保存活用推進計画
- ・豊科本町通りまちづくりワークショップ
- ・豊科高店街活性化事業支援
- ・大町市仁科三湖整備計画策定
- ・安曇野市歩いて楽しまちづくり支援
- ・青木村空家等対策計画
- ・中心市街地空き店舗調査（長野市、更埴市）
- ・大町ダム水源地域ビジョン
- ・大町市中心市街地街なみ環境整備計画
- ・蔡川山村活性化ビジョン
- ・中条地区住民による土地管理に関する検討会運営
- ・重点道の駅あおき高機能拠点化プロジェクト基礎調査
- ・東御市道の丸高原スポーツツーリズム調査企画



プロジェクト支援

- ・長野市城山公園全体再整備基本構想
- ・信濃美術館再整備検討調査
- ・長野市山の駅飯綱高原基本計画支援
- ・長野電鉄旧歴代線橋内駅整備構想
- ・北信濃ふるさと森文化公園利用促進構想
- ・大町駅前親水スポット整備構想
- ・筑北村スマートインター整備構想
- ・駒ヶ根市総合運動公園基本構想
- ・茅野市上川河川空間整備構想
- ・長野市ごみ焼却施設周辺環境整備意見集約
- ・長野市茶臼山動物園再整備構想
- ・長野市茶臼山エリア活性化再整備計画
- ・南長野運動公園サッカー場再整備基本構想
- ・湖の丸高原宿泊施設建設工事業者選定支援
- ・長野運動公園野球場再整備検討調査
- ・長野県西駒郷再整備方針検討調査
- ・長野市森林セラピー道地調査
- ・長野県防災公園適地調査
- ・長野市斎場適地調査及び整備構想
- ・佐久総合運動公園事業再評価
- ・佐久武道館基本構想
- ・松本平広域公園にぎわい創出拠点構想
- ・松本平広域公園陸上競技場団体対応調査検討
- ・松本平広域公園アルウィン機能向上検討
- ・大規模公園費用対効果分析
- ・小規模公園費用対効果分析
- ・麻績村まちづくり交付金事業構想図作成
- ・長野市浅川遊水地構想図
- ・野尻湖湖畔森林整備構想
- ・白馬村奈良井地区公園構想図
- ・佐久市民交流ひろば基本構想
- ・長野市村山橋周辺河川利用構想計画
- ・佐久市虚空蔵山自然のみち整備構想
- ・飯綱町公園整備構想図
- ・茶臼山自然植物園再整備構想
- ・史跡量賣峠黒曜石原産地遺跡屋外展示施設構想
- ・松本平広域公園アルウィン機能向上検討
- ・大規模公園費用対効果分析
- ・高山村リハビリ公園整備構想
- ・安曇野フィールドミュージアム構想

RESEARCH & ANALYSIS

調査・分析・解析

プロジェクトを効果的に、効率よく進めるためには、基礎データの調査、分析・解析が必要です。植物、動物、生態系などの自然環境、歴史や文化を含む生活環境をはじめとし、施設の利用実態や市民の意向調査など幅広く手がけています。



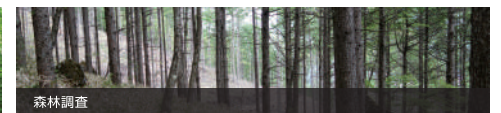
環境アセスメント・環境調査

- ・国営アルプスあづみの公園環境調査
- ・犀川河川敷自然環境調査業務
- ・星月高等学校の移転予定地における環境調査業務委託
- ・神田川桜堤事業に伴う環境調査業務
- ・手井マレットゴルフ場整備事業に伴う自然環境影響調査
- ・大出公園環境調査業務
- ・ハッポ高原海の口自然郷自然環境調査
- ・雨宮緑地ほか環境調査
- ・内山牧場コスモス園自然環境調査
- ・塩瀬王城観光連絡道路環境影響調査
- ・軽井沢森林カントリークラブ環境影響調査
- ・穂高山麓開発計画に伴う自然環境影響調査
- ・雁田山採石場環境影響調査
- ・松代採石場環境影響調査
- ・篠ノ井ゴルフパークモニタリング調査（植生・動物）
- ・御座温泉のリユウキンカバ元元調査・計画
- ・道路、河川、治山の事業に伴う環境調査



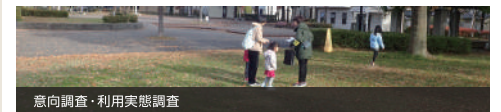
樹木調査

- ・運動公園通り線街路樹倒木診断調査
- ・若槻団地中央線街路樹診断調査
- ・長野大通り線街路樹診断調査
- ・なるう原公園整備に伴う立木調査
- ・長和町指定天然記念物枝垂れ桜樹木診断
- ・地附山幼苗植生生育調査
- ・宇井神社保存樹木診断
- ・南向塚古墳さくら樹木診断



森林調査

- ・森林全体計画
- ・森林資源モニタリング調査
- ・長野県森林吸収源データ整備森林調査
- ・森林計画に係る公衆関与と影響評価に関する調査
- ・標準地調査および施策指針
- ・荒廃状況調査
- ・森林施策による生物多様性保全効果調査



意向調査・利用実態調査

- ・国営アルプスあづみの公園満足度調査
- ・国有森林計画住民意見把握
- ・長野駅善光寺口駅前広場利用アンケート
- ・飯綱町地域福祉計画アンケート集計
- ・若里公園利用実態調査
- ・上高地大正池トリイ利用実態調査
- ・上高地横尾地区施設利用状況調査
- ・青木村公共交通利用意向調査
- ・飯綱町高齢者公共交通利用意向調査

AWARDS HISTORY 主な受賞・表彰歴

2020年ランドスケープコンサルタンツ協会賞 設計部門 優秀賞



第36回全国都市緑化信州フェア信州花フェスタ2019

本業務は、全国都市緑化信州フェアが開催されたメイン会場及びサブ会場の基本設計・実施設計と管理・運営を行ったものである。このうちメイン会場の空間構成は、「信州らしさの体感・創造・交流」をキーワードとする4つのエリアと「展示・出展・催事・協働」のコンテンツが重なり合う9つのゾーンで構成されている。各ゾーンで工夫を凝らした緑の演出が見られるが、特に北アルプスを背景に丘の起伏を活かして整備された大花壇の「北アルプスの花の丘」は、信州フェスタを成功に導いたメイン施設としてデザイン的にも優れた空間となっている。また、会場内の動線配置も眺望点や各ゾーンへの移動がスムーズな構成となっている。本業務に対しては選考視点毎の評価は分かれたが、総合的な評価点が高く優秀賞となった。

第33回都市公園等コンクール 一般社団法人日本公園緑地協会会長賞 設計部門



ふるさと公園あおき

本公園は、長野県青木村（人口4,446人）の中心を貫く国道143号沿いの工場跡地の約1.6haを活用し、隣接する道の駅と一体で地域の賑わいと憩いを創出するとともに、村民の村防災意識に対応できる公園施設として整備された。計画・設計・施工段階では、次世代を担う子どもたち、村内の各種団体等からなる計画策定委員、近隣の企業のCSR活動等の協力を得て整備を進め、村内外との交流を促進するとともに防災機能も高め、安全安心の確保にも貢献している。広い芝生広場と遊具、水遊び場が人気を呼び、駐車場が満車の日も多く、向かいの道の駅の売り上げも増加し、道の駅を中心とした活性化の呼び水となっている。芝生広場も着陸しやすい非常用ヘリポートとして利用されるなど、公民連携の公園運営がまちの活性化に展開していることが評価された。

第36回都市公園等コンクール 一般社団法人日本公園緑地協会会長賞 特定テーマ部門



長野駅東口公園

本公園は、長野駅の「新たなシンボル」として、長野駅東口に近接した土地区画整理事業地内の約1.3haに整備された近隣公園である。1998年の長野冬季オリンピックを契機に20年以上にわたり取組まれた事業の集大成として、早い段階から住民とワークショップにより計画の具体化から管理に至るまで話し合いを重ねてきた。長野駅に近いポテンシャルを活かし、まちなかの緑あふれる憩い空間として、子供の遊び場、にぎわいの場、交流の場として利用されている。開放感のあるデザインや、かつて流れていた農業用水堰を土地の記憶として継承したデザインに加え、健康や防災などの現代の課題に対応した設計が評価された。

主な受賞・表彰一覧

受賞・表彰	業務名
令和2年度第36回都市公園等コンクール設計部門 会長賞	長野駅東口公園
2020年ランドスケープコンサルタンツ協会賞 設計部門 優秀賞	第36回全国都市緑化信州フェア信州花フェスタ2019
令和元年度長野県道事務所長表彰：優良業務及び優秀技術者	H31あづみの公園満足度調査業務
令和元年度長野県優良技術者表彰若手部門	長野県都市計画ビジョン策定
平成30年度第31回長野市景観賞	長野市サンマリンながの及びリサイクルプラザ
平成29年度第33回都市公園等コンクール 特定テーマ部門 会長賞	ふるさと公園あおき
平成27年度国営アルプスあづみの公園事務所長表彰：優良業務及び優秀技術者	H27あづみの公園満足度調査業務
平成26年度大町ダム管理所事務所長表彰：優良業務	大町ダム水源地域ビジョン推進業務
平成27年度長野県優良技術者表彰(委託業務)	平成25年度 防災・安全交付金(効果促進)事業に伴うまちづくりワークショップ運営支援業務委託
平成21年度国営アルプスあづみの公園事務所長表彰：優良業務	H21大町・松川地区深流レクリエーションゾーン実施設計他業務
平成20年 信州省エネモデル住宅設計コンペ優秀作品)	Ecology Life Style「たまり・の家」
平成19年度長野県優良技術者表彰(委託業務)	丸子修学館高校大講義室棟
平成18年度国営アルプスあづみの公園事務所長表彰	国営アルプスあづみの公園花卉及び樹林修景設計業務
平成17年度 北陸地方整備局長賞	平川再生検討業務
平成17年度ランドスケープコンサルタンツ協会賞 最優秀賞受賞	茅野市公園プロジェクト調査研究(公園マスタープラン策定)業務
平成11年度国営アルプスあづみの公園事務所長表彰	平成11年度 環境調査業務(国営アルプスあづみの公園)



50th
Anniversary
KRC®

50周年記念 座談会

平成30年11月7日

司会 竹内

ただ今から株式会社KRC50周年記念の座談会を始めさせていただきます。

本日は、会社の設立から今日まで、深く関わって来られた6名の方にご出席いただき、これまでの50年を振り返っていただくとともに、会社として時代の変化の中で今後目指すべき方向などについて、それぞれ自由なご意見・ご提言いただければと思います。

それでは、最初に会社・KRCとの関わりについて、まず長谷部さんからお願いします。

長谷部

造園と関わり

長野県造園協会そして造園建設会社の設立

昭和30年(1955年)更級郡稲里村・小島田村・青木島村・真島村が合併し更北村が発足しましたが、昭和35年に村会議員になった私は、その後、更北村の長野市への都市計画区域の編入に合わせ行われた土地区画整理事業の計画に携わりました。これが私の造園との関わることになったきっかけでした。

その後、長野県庁にいた大学の先輩から高い造園の技術と知識をもたれていた桜井慶三郎さんを紹介されました。当時は所得倍増計画の時代で、東京オリンピック開催(昭和39年)も近く、都市化も進み公園建設

盛んになり始めた頃で、桜井さんの力を生かすべく、多くの関係者の努力により、昭和38年長野県造園協会という新たな組織が立ち上がりました。初代会長は西沢県知事でした。造園の経験が浅かった私は協会のもとでとにかく勉強させていただきました。

長野県初の造園設計事務所の立上げ 公園緑地設計事務所の誕生

桜井さんは協会の事業に「設計」をとり入れましたが、当時は造園には設計という考えはなく、植木屋さんが独自に施工していた時代でしたので、画期的なことでした。その後、事業の拡大に伴い、会社組織が必要となり、40年、私が社長となり有限会社造園建設ができました。翌41年7月には株式会社長野公園建設と社名

が変わりました。次第に仕事も増え、設計部門の充実の必要性が高まり、植木屋の中に小さな設計事務所を独立させました。初代社長には信州大学出身の池内さんから今日出席されている小山さんを紹介していただき、昭和46年7月に長野県初の造園設計事務所である公園緑地設計事務所が誕生しました。これが今のKRCに引き継がれてきたのです。

竹内

それでは小山さんからも、今のお話の内容も含めて続けてお願いします。

小山

設計事務所としての始まり

私はモロッコでの2年の青年海外協力隊の活動を終え

01 株式会社KRCとの関わり

帰国して測量会社にいたところ、信州大学の同期（池内さん）に声を掛けられ入社しました。当時は公園緑地設計事務所という名前で社員は2人。桜井先生のお手伝いをしながら造園設計を覚えました。次第に仕事が増え、昭和50年に下水匏に移転しました。従業員は6、7人で苦しい時期もありましたが、その後、仕事量、社員も増え、長野市吉田のビルに引っ越しました。この頃にはフランスのラ・ヴィレット公園の国際コンペにも参加しました。結局仕事にはなりませんでしたが、徹夜で書類をまとめたり、フランス語の通訳を雇ったりして、真剣に取り組んでいたのを思い出します。

仕事の方は、昭和47年度から数次にわたり施行された都市公園整備五か年計画や環境アセス等により、順調に増え多くの実績を得ました。平成5年に開催された信州博覧会の会場整備の時には、皆が寝食を忘れて働き、大成功を収め、いい思い出になっています。平成11年には、開発が進む稲里中央に今の社屋を建てました。

竹内

続いて宮入社長をお願いします。

宮入

業務拡張のころの入社

仕事量が増えてきた昭和59年に入社しました。土木工学の専攻で造園分野ではありませんでしたが、生活環境や自然を相手にした特色のある仕事内容を見て入社しました。当時、社員は少人数で小規模な仕事が多く、徐々に規模が拡大してきたという時期でした。公園の仕事から派生する環境調査とか道路設計とか様々な仕事も経験させていただきましたが、このような幅広い仕事の実績が今の会社の業務形態に繋がっていると思います。仕事はハードでしたが、自由でとても良かったと思っています。

公共事業見直しの波の中で社長就任

仕事の規模も広がり会社の規模も大きくなってきた頃、公共事業見直しという時代の波がやってきました。会

社全体の見直しを迫られる中、私が社長に就任させていただきました。社長として手始めに、銀行など取引先に向向ったことで、付き合いの幅が広がりました。まだ若かったこともあり、大勢の皆さんの懐に飛び込んでいくことで新しい仕事に繋がったと感じております。

竹内

その当たりのご苦労は多々あったと思います。その辺はまた後程お願いします。では佐藤さんお願いします。

佐藤

県職員を終えて KRCへ

私が建設省を辞めて長野県職員になったのは、昭和62年です。KRCとの最初の思い出は、平成2年に開催された大阪花博への長野県の出展庭園の仕事でした。この時は竹内さんも同じ係で一緒でした。考えた出した庭園は、真夏の博覧会だったのですが、オリンピックの招致を意識し、雪解けのブナの林をつくり、根開きやシュプールを描いた造景庭園で、かなり話題となりました。当時は、公園緑地設計事務所でしたが、皆さんは勉強熱心で、かなりの知識と技術と柔らかい頭をもった集団だと思いました。そして、平成5年の信州博覧会では、主要不可欠なメンバーとして大活躍でしたし、長野オリンピックの時も、仕事はもちろんボランティアとしても協力頂きました。その後、公私にわたりお付き合いいただき、縁がありまして平成20年に県を退職し、KRCにお世話になることとなりました。

竹内

では、坂田さんお願いいたします。

坂田

個性的な先輩たちとの出会い

昭和55年に入社しました。造園系の学校にいて就職を迷っていた時、長野にも造園設計系の会社があることを知って応募しました。入社当時は、私も含め7名でした。ロック魂みたいな人、ちょっと酔っ払い風な人やヤンキー風の人など、特徴的な人たちがばかりでした。小山社長のお兄さんは高校時代の私の英語の先生で、自分の成績を知っているのに、よく採用してくれたと思いました。幸いなことに入社当初から設計に携わらせていただきまして、大型物件にも関わらせていただき今日まできており、とても感謝しております。信州博覧会などもと



でも楽しい記憶です。

竹内

そうでしたか。では最後に西澤さんお願いします。

西澤

出産後2か月で復帰 会社との長い付き合い

小山さんの奥さんの紹介で事務員として入社しました。昭和53年4月から昭和61年3月までの期間、出産のために“一応”退職しましたが、その年の6月頃、経理が大変なので午前中だけでいいから仕事に来られないかということでした。それから平成25年3月の退社まで、会社とは長い付き合いになりました。再就職となった時に吉田の3階建てのビルの狭い所でみんな苦勞してやっていた。当時の従業員は5人。とにかく、みんな頑張っていました。

竹内

ありがとうございます。次に会社に入られて以降の苦勞話だとか成果、達成感というようなお話があればそれぞれのお立場でお話いただければと思います。長谷部さんからお願い致します。



02 業務での思い出話 苦勞、成果

長谷部

近代経営を目指し倒産の危機 悪戦苦闘のスタート

園建がスタートした頃の設計部門の仕事は悪戦苦闘でした。ゴルフ場に目を向けたのですが、オイルショックにも重なり、厳しい状況でした。小山さんには苦しい時のスタートだったので感謝をしています。ただ、その時、頑張っていた人たちが育ってきてくれたのが救いでした。社会が変化する中で、造園会社も近代経営が必要であり、それには人材養成が一番のポイントだと思います。

竹内

変化が早い時代でしたから、ご苦勞も多かったと思います。では、小山さんお願いします。

小山

苦勞の中での人材育成

苦勞した点は初期段階の資金難です。ずいぶん苦勞しましたが、私には人材育成が絶対に大事だという信念がありました。佐藤さんから当社は「勉強する会社だ」とありましたが、当時造園設計には教科書というものはなく、資料や本などから読み取ったりするしかない時代でした。もともと私はモロッコで何もない中で2年間苦勞したので、その経験が活かたのではないかと思います。

公共事業縮小の時期～飛躍のきっかけとなった信州博

一番苦しかったのはオイルショック以上に、田中県政時代の公共事業の縮小でした。特に造園系はその影響が大きく、当時の従業員を3分の2にしなければならぬなど本当につらかったです。恵まれていた時代は平成6年の信州博覧会の頃です。それまでに構築した人脈や信州大学農学部先生のアドバイスを受け、いろいろなイベントの企画などをさせていただきました。順調に業績も増え社員にも喜んでもらった時期でもありました。

宮入

厳しい時期を乗り越えて

小山さんから社長を引き継いだのは、設立30年を経過した平成15年でした。それまでの蓄積がなくなり、マイナスからの厳しい状況からのスタートでしたが、一番心

掛けていたのは、社員を含め関係の方々に安心していただける経営基盤の安定化でした。また、会社の雰囲気盛り上げること、社員が力を存分に発揮できる環境づくりだと思いましたが、幸い皆さん力も意欲もあり、自ら結果を出してくれました。当時の社員の皆さんに感謝しています。

幅広い仕事を経験してきた強み

制限られた人数の中、仕事の内容は大変幅広く、経験のない仕事もありましたが、そうした時も自ら勉強し、担当者として様々な分野の専門家や社外の方々と絶えずネットワークを築いてやってきました。厳しい時期でしたが、こうしたことが結果に繋がったという実感があります。奈良井川にヒノキの木橋を架けるふるさと創生事業では、アイデアから具体化までの幅広い業務にも挑みました。発注をいただく機関も市町村から県、県外と幅広く充実した中、現在に至っていると思います。



佐藤

県職員時代に得たKRCとの信頼感

私の県職員時代、KRCさんには、広範な場面でご協力いただきました。全国組織の公園緑地協会や日本造園修景協会、都市緑化機構、日本造園学会などに積極的に参加いただき、造園関連の「官・学・民」の一翼を担い長野県存在をPRして頂きました。また、当時は公園事業の隆盛期で県、市町村で多くの公園が整備されましたが数多く公園の設計を手掛けていました。そんな中、公園事業が不慣れな市町村への支援や、新しい施策のものや工期が厳しいものなど無理難題にも持ち前の知識や勉強の熱心さで応えていただきました。行政と民間の関係も今とは違い、専門分野のよしみで、親しくお付き合いをさせていただきました。また、厚生労働省が所管する造園技能検定の検定委員を務めていただきました。

入社して、始めた関わった仕事は、飯山の「高橋まゆみ人形館」で、今でも高橋まゆみさんや人形館のスタッフのみなさんと親しくお話をさせていただき、いい思い出になっています。

坂田

ものづくりのつらさと喜び

会社が厳しい時、設計部門への影響が大きかったのがつらかったです。設計者としてみんな苦勞しますが、単に積み重ねだけではなく、突然の経験が役立つこともあります。造園設計には教科書がなく、今まで建築など異なる設計の仕事等の経験が確かな成果につながっています。小山さんの社長時代は、社員一人ひとりが社長だという社訓もあり、人に頼ることなく各々がやっていました。造園設計は幅広い知識を必要としますが、それが面白いのだろうと思います。

手描きからCADへ

大変な思いをしたのは、手描きからCADへの移行でした。松本事業所で率先して、これまでの手描き・手計算をワープロ・エクセルソフト、ドラフターをCADに移行したのが平成7年頃です。時代の流れとはいえ、実際に使う方としては分からないことも多く苦勞しました。

西澤

経理・総務として会社への想い

入社して最初に困ったのは、初めての経理だったので、簿記用語がまったく分からず、銀行とのやりとりも大変でした。入札から契約に至る仕組みも分からなく、勉強しました。その後、社員も増えてきましたが、公園としての仕事はまだ少なくて、下請けだったり、私も他社へ出向きお手伝いしたこともありました。

会社を辞める前に、女性の方や事務員さんも入ったので、少し楽になりました。

新社屋完成の喜び

振り返ってみて、一番うれしかったことは平成11年に新社屋ができた時です。みんなが苦勞していたのを分かっていたし、何度も引越していたので自社の建物で仕事できる環境ができたことは本当に良かったです。小山さんが「経理がお金をしっかり管理してくれたおかげだ」と言ってもらったことは今でも忘れません。

03 KRCの果たしてきた役割、 これからの役割 新しい時代へ。 次の50年先の会社は…

長谷部

働き方改革 時代の課題の中で楽しく和やかに成長 を100年企業に

建設業界が人材不足の中、造園業界でもなかなか人材が集まらなかったり養成ができなかったり、少子化の影響が出ています。世の中が多様化している中でそれに対応するのは困難なことだと思います。こうしたなか、若い人には多めに勉強していただき対応していただきたいと思います。頑張ってくださいいただければ50年先にも立派に成長している会社であると思います。そして楽しく和やかに成長していただければと願っています。

小山

一人ひとりが強くなりマニュアルに頼らない人材を

私が社長のころは、品格・人格を高める努力をしましよ

うという話をしていました。それが、結果的に自分のため会社のためになるということです。業務の多様化が進んでいる中では基本的に各々が経営の観点をもちやってもらいたいと思います。技術士の資格を取得した人も増えましたが、技術の研鑽とともに、今後はマニュアルに頼らない力やコミュニケーション能力の向上など、個人の力をより高めていくのが一番重要なことではないでしょうか。

宮入

柔軟な目線と幅広い観点から

設計業務は幅広くなっていますが、やはり最終的には人であるということをも実感しています。

的確な仕事をするには、知識力や技術力はもちろん、公益性の観点からも地域の皆さんや関係者の要望の他、様々な意見や見方も含め結果を出していくということが重要です。併せて、多くの課題を乗り越えて進む決断力、解決力も大事だと思います。

夢を具体化するやりがいのある仕事

社内連携という意味では例えば北アルプスのようなイメージを持っています。山脈が会社で人材が連なり、所々に山頂があり各々が突出した個性を持つというような連携が重要です。我々の仕事は、夢を絵や図に具体化し、それを実現させるプロセスを提示するというやりがいのある仕事です。肝心なのは幅広いコーディネーター、マネジメント力をもちながらも自分の個性をもつということだと思います。

行政・公共の変化に対する多様性

都市公園法が改正されて以降の状況を考えると、行政のみで公共の場所をつくり維持していくのは難しくなっていて、企業、NPOなどをコーディネートするなどの多様な形態がますます増えてくると感じています。そのときにコンサルタントとして重要なのは我々だけの価値観や考えだけでなく、いろいろな立場の方々に協力していただきながら協働のプロセスをコーディネートしていくことだと考えています。

佐藤

公共空間・オープンスペースのトータルデザインを

最近、ランドスケープデザイナーという言葉を手嶋亮さんという方が盛んに使っています。今回の造園の学会

誌にも書いてありましたが、一つの公園という概念から離れて、一つの公共スペース、オープンスペースをデザインするプランナー、そういった人がこれからの活路を見いだせるのではないかと気がしています。うちの会社もそう思ってみてみると、いくつかの動きがあると思います。地域計画を景観や緑、快適さを視点に計画することや、公園の中に民活の事業をもち込み、公園と周辺が一体となったオープンスペースをつくるような、多分そういった仕事がかこれからどんどん増えてくると思います。商業施設だったり、場所によっては文化財だったり、もともとあった大規模公園だったり、そんなまとまりのある空間をデザインできる技術者が必要なかもしれません。

坂田

現場の改善と会社に向かうべき道標を

会社経営の観点からはそういうことだと思いますが、今後の展開として現場ではなかなか難しい課題もあると思います。多様化する仕事が増え、時間に追われながら業務をこなす中での連携の難しさや経験の蓄積など

を含め、会社が今後どういう方向に進むのかが問われるのだと思います。これまでのやり方も変わっていくし、今は過渡期なのだと思います。昔からまだまだ変わっていない部分もあるのだなと思いながら皆さんの話を聞いていました。皆さんが無理をしてやってきているのを知っているから、体だけは気をつけていただきたいなと思っています。とにかく私はこの先、KRCが何年も何十年も続いていくといいなと、願っています。

竹内

次代へのステップアップ

公共事業の入札制度も変わってきており、プレゼン能力を高めるなど、人材育成もさらに必要な時代なのかだと思います。本日ご出席の皆さんに共通したご意見は、次の50年を見据えるとき、時代の変化に対応し、より高い技術力を身に付け、互いに連携しながら様々な課題を解決していくことが大切であるということだったと思います。今後も様々な場面でご助言、ご指導いただければと思います。本日はありがとうございます。



HIROSHI SAKATA
坂田 宏



KOICHI HASEBE
長谷部 好一



KEN-ICHIRO MIYAIRI
宮入 賢一郎



HIROFUMI SATO
佐藤 博文



AKIRA KOYAMA
小山 明
(故人)



CHIEKO NISHIZAWA
西澤 知江子



TOSHIAKI TAKEUCHI
竹内 敏昭
(KRC取締役当時)



KRC3.0ビジョン 100年企業を目指して ランドスケープコンサルタントとしての **MISSION**

MISSION:01

総合的なマネジメントのできるコンサルタント

ハードだけでなくソフトも、計画・設計（部分プロセス）だけでなく、企画から運営まで、多様な立場で事業プロセスに全体に関与できるトータル・マネジメント・コンサルを目指していきます。その過程で、計画・設計など実績があって専門性を有する領域でより高い技術力を発揮していきます。

MISSION:02

地域に寄り添った提案型のリーディング・コンサルタント

気候・気象・地形・地質・景観・風景・風地域精通度を最大限に活かし、顧客の信頼を得て、それぞれの地域プロジェクトをリードできる存在を土・歴史・文化などから場を読む力と顧客に目を向け、地域に寄り添い、に応じた提案を行い、様々な立場で目指していきます。

MISSION:03

多様な空間に展開できるフレキシブル・コンサルタント

同業・他業他社（者）とコラボレートしながら、道路、河川、農村・農地、森林、自然環境あるいは低未利用地など分野・スケール問わず、公園・緑地以外の多種多様な空間づくりに積極的に関与し、ランドスケープの感性や技術をフレキシブルに展開・応用できるコンサルタントを目指していきます。



株式会社 KRC

本社 〒381-2217 長野県長野市稲里町中央三丁目33番23号
TEL 026-285-7670 / FAX 026-254-7301
URL www.krc-net.com E-mail krc-ldc@KRC-net.com

事務所/営業所

長野事務所 〒381-2217 長野県長野市稲里町中央三丁目33番23号
TEL 026-285-7670 / FAX 026-254-7301

あづみの事務所 〒399-8201 長野県安曇野市豊科南穂高1228-2斉藤ビル3F
TEL 0263-71-2244 / FAX 0263-71-2234

中南信営業所 〒390-0312 長野県松本市岡田松岡13-1
TEL 0263-46-3975 / FAX 0263-71-2234

東京オフィス 〒101-0032 東京都千代田区岩本町3-8-8 中和秋葉原ビル6F
TEL 03-5823-4220 / FAX 03-5823-4221

代表者 代表取締役社長 宮入 賢一郎

設立 1971年(昭和46)7月5日

資本金 10,000,000円

事業登録ほか ■建設コンサルタント(建(01)第5289号)
造園部門/都市計画及び地方計画部門/建設環境部門/河川、砂防及び海岸・海洋部門
■測量業者(登録第(12)-4836号)
■一級建築士事務所(長野県)G第25251号
■ISO9001:2015認証[本社 長野事務所 あづみの事務所]
■長野県SDGs推進企業登録 [第7期 648]

所属団体ほか ■一般社団法人ランドスケープコンサルタンツ協会
■一般社団法人日本公園緑地協会
■一般財団法人日本造園修景協会
■一般社団法人長野県建築士事務所協会
■信州緑花ネットワーク
■長野駅善光寺口活用ネットワーク
■一般社団法人社会活動機構OASIS
■特定非営利活動法人CO2バンク推進機構
■長野県造園施工管理技士会

創立50周年を迎え、無事に記念誌を発行できたことを心より嬉しく思っております。

本記念誌の発行に際し、ご寄稿を賜りました皆様、ご協力いただきました皆様、
すべての方に感謝いたします。

これまでの50年の歴史を振り返り、諸先輩方の功績と偉大さを痛感いたしました。

これからの未来をデザインする造園人として、さらなる進化を求めてまいります。

編集委員一同

KRC50周年記念誌
令和3年7月発行

編集 KRC50周年記念事業実行委員会

発行 株式会社KRC

制作 株式会社一兎舎



株式会社KRC

本 社 / 長野事務所
〒381-2217 長野県長野市稲里町中央三丁目33番23号
TEL 026-285-7670 FAX 026-254-7301
あづみの事務所 中南信営業所 東京オフィス